

発行所 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
 公益社団法人日本海洋少年団連盟
 電話 03(5213)4778
 (年6回奇数月の1日)
 5・7月合併号
 購読料 1部10円(送料実費)
 会員会費には購読料が含まれる
 振替東京 5-13846番



ちかい

1. 海のような広い心で団結し
すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い
立派な海の子になります。

**令和6年度
日本海洋少年団連盟定時総会開催**



6月14日、令和6年度日本海洋少年団連盟定時総会をホテルマリナーズコート東京において開催しました。

総会に先立ち14時から団長会議が開催されました。

1. 「第56回日本海洋少年団全国大会について」は、本年8月3日に東京で開催される第56回日本海洋少年団全国大会式典の部「全国海洋少年団大会」についての説明と、翌年に行われる第56回日本海洋少年団全国大会競技の部「全国海の子の祭典」の共通実施要項等についての説明があり活発な質疑応答がなされました。

2. その他として理事長から「ハラスメントの防止について」、「卒団者の進路について」の発言がなされました。

続いて定時総会が16時から行われ、来賓の文部科学省総合教育政策局地域学習推進課青少年教育室長小沢文雄様、国土交通省海事局総務課長谷川仁彦様の挨拶に続き、次の議案が審議され、何れも満場一致で承認されました。

第一号議案 令和5年度事業報告及び令和5年度決算について

第二号議案 令和6年度事業計画及び令和6年度予算について

第三号議案 辞任に伴う役員の変更について

第三号議案において、村上英三会長、遠藤充理事、尾澤克之理事長から「ハラスメントの防止について」、「卒団者の進路について」の発言がなされました。

**日本連盟会長に
内藤忠顕氏 就任**



会長就任ご挨拶

この度、第14代会長に就任しました内藤忠顕です。どうぞ宜しくお願い致します。

まずは、二年間にわたり日本海洋少年団連盟の発展にご尽力された村上前会長に厚く御礼を申し上げますが、私事になりますが、

私は子供の頃、父親の勤務先の海の保養所に毎年泳ぎに出掛けていき、沖を通過する船を見て、海はいいものだと思って育ちました。その影響もあってか、社会人として海運会社に勤め、半世紀以上にわたり海運に携わってまいりました。

子供の頃に海に親しむというのは、海洋立国日本にとり非常に大切なことだと思います。

海洋少年団の活動を通じて、若い世代が子供の頃から海に関心をもち、団体生活を通して社会生活に必要な道徳心を養い、これにより心身ともにたくましい人間を育成してゆくことが海洋少年団の活動の目的だと理解しております。私たちの活動は海洋立国日本の基盤を支えるひとつの大切な役割を果たしていると考えています。

各団の指導者の皆様におかれましては、長かったコロナ禍の中で厳しい状況でも海洋少年団活動を継続されたご経験を活かし、様々な活動を本格的に再開されていることと思います。こうした活動を日本連盟としても精一杯の支援させていただきますと共に、当連盟の発展に務めていく所存ですので、宜しくお願い致します。

薩摩海洋少年団 結団式



鹿児島市内で昭和45年から鹿児島海洋少年団が活動してきましたが、指導者不足や団員の減少が進み、昨年11月に廃団となりました。

この度、海洋少年団のOBである海上自衛隊職員や海上保安庁の退職者などがボランティアとして指導や団運営にあたることで、今年度の4月1日に鹿児島で新たに「薩摩海洋少年団」という名称で結成され活動を再開することになりました。

新たに発足した薩摩海洋少年団の結団式は、5月12日に、桜島フェリーターミナルのイベントホールで小学3年生から高校3年生までの団員4人が参加して



17時05分からは臨時理事会が開催され、代表理事・会長に内藤忠顕氏の就任が承認されました。

また2号正会員に内藤忠顕氏、権藤正信氏の入会が承認され一連の会議が無事終了しました。

臨時理事会のあとは、同ホテルにて懇親会が開催され、内藤会長の挨拶(同左に掲載)に引き続き、国土交通省海谷海事局長の乾杯のご発声で懇親会がスタートしました。途中、海事振興連盟副会長の塩谷立衆議院議員の祝辞をいただくなど懇親会終了まで海洋少年団団長や賛助会員、関係官庁、関係団体等の皆様

指導者資格認定者

令和6年3月15日及び5月17日開催の資格審査委員会で認定された方は次の通りです。

統括指導者	指導者
八戸団 森下 真喜子	豊橋団 鈴木 祥音
八戸団 梨木 富広	豊橋団 磯田 諭志
酒田団 佐藤 薫	豊橋団 原 卓良
酒田団 五十嵐 智美	豊橋団 菅谷 大
大田区団 増田 敏男	豊橋団 山本 景次郎
敦賀団 池上 都士恵	豊橋団 酒井 佳恵
大阪みなと団 深本 岳	豊橋団 森下 珠帆
神戸団 大下 勝司	豊橋団 大橋 伸一
神戸団 秋丸 康昭	豊橋団 大須賀 公泰
門司団 是永 直輝	豊橋団 中村 佳寛
門司団 是永 真利子	敦賀団 橋詰 亜依奈
石垣団 前田 博	敦賀団 大畑 和代
	尾道団 内海 雄登
	尾道団 杉原 晃司
	三原団 池田 和樹
	宇部団 杉山 芹菜
	宇部団 竹森 健太

今月の主な記事

- 2面 新しい仲間が入ったよ(入団式)
- 3面 各国活動報告
- 4面 褒状山縣賞授与式及び合宿研修、OPPOUTレースで優勝、みづの広場、間違い探しほか



新しい仲間が入ったよ！これからいっしょに楽しく活動しましょう！！

ここに紹介した以外にも全国の海洋少年団で入団式が行われています。

南勢団



5月12日、南伊勢町町民文化会館で3年ぶりの入団式を行いました。コロナ禍で町内各学校への入団案内は控えていましたが、申し込みがあり嬉しい限りです。1名の入団ですが、人口一万一千余の町にとっては大都市にも勝る率ではないかと思えます。式は高等級の後に続いて「ちかい」「やくそく」を復唱し、中等級が「ニューダンオメドウ」と手旗で送信し、入団証書を手渡しました。入団式後は、地元の方のご厚意でサップ体験のため、隣の志摩市へ向かいました。

中日団



5月12日、通常訓練と令和6年度総会及び第73期入団式を行いました。今年度は3名の新入団員を迎えることになり、入団式にて、ちかいの斉唱や団員手帳授与が行われました。

酒田団



4月15日、酒田市総合文化センターにおいて入団式と進級式を行いました。3名の新入団員と21名の継続団員、合わせて24名の団員で、今年度もスタートしました。

舞鶴団



舞鶴団は、4月13日に、舞鶴市長ほか多数の来賓者出席のもと、令和6年度入団式を開催しました。新しく入団した団員2名は、男子と女子で、4月に小学校に入学した1年生です。二人は、もともと知り合いの仲良しで、リハーサルもスムーズに上手にできました。舞鶴団は2名の入団者を迎え元気よく活動していきます。

神戸団



4月6日、神戸団の入団式・進級式を実施しました。新年度の神戸団は次の体制でスタートを切る事になりました。新入団員は小学生6年の団員1名。団員構成は高等級9名、中等級5名、初等級4名、教育級1名。8年前の結団当時と比べると、団員の平均年齢が高くなり団の屋台骨もしっかりとしてきました。また将来、海事関係の学校、職業を目指したいと言う団員も出てきており、頼もしく嬉しい限りです。

小浜団



小浜団は、5月11日に「小浜市婦人の家」で入団式・進級式を実施しました。本年度は、2名の新入団員を加え、中等級5名、初等級6名、教育級3名の合計16名で活動することになりました。中等級が、下級団員の面倒を見るなど、リーダーシップを発揮する場面が多くみられ、その成長を頼もしく感じています。念願の高等級育成をめざして、団長・指導者は、これからも頑張るつもりです。

福岡団



4月7日、令和6年度最初の訓練日は、入団式と進級式からスタート。今年度は3名の新入団員を迎えて、年度初めに入団式を実施することができました。進級式では、それぞれ階級が上がり、また、昨年度の出席優秀者の表彰も行われました。午後からは、5月の博多どんたくに向けて行進訓練を行いました。今年度もみんなで元気いっぱい活動しましょう！

下関団



6月9日、令和6年度の入団式を行いました。入団者は小学6年生の男子です。下関に引越してくる前は宮古島団に入っていたとのことで、下関にも少年団があることを知って連絡してきました。下関団の雰囲気はどうかと思いましたが、次の集まりの時には入団を決めてくれました。みんなが見ている中、少し緊張しながらも落ち着いて戴帽式も行うことができました。

尾道団



6月9日、令和6年度尾道団入団式を実施しました。今年度は5名が団員として入団。11時から入団式を行い、午後からは、海の日の中パレードのブラスバンドの訓練を実施しました。まだまだ、課題が残っていますが、なんとか本番当日に向けて練習を重ねていきたいと思います。今年度は16名で活動していきます。

「我ら海の子展」 絵画製作風景

たくさんのご応募ありがとうございました！



(写真) 左 佐世保団、右 福岡団

門司団



門司団は、令和6年度45期入団式・進級式を4月14日に行いました。来賓の門司海上保安部、市役所職員、市議員、海洋訓練指導者の方々と保護者会に祝福され教育級4名のフレッシュな新入団員を迎えることが出来ました。リーダー4名による新入団員歓迎手旗を皆様の前で披露しました。また、中等級団員2名の進級式や結索の技能賞ならびに皆勤賞が団長から受賞者に授与されました。

酒田団

☆タウンミーティングで手旗披露☆

6月16日、ホテルリッチ&ガーデン酒田で開催された海事振興連盟主催「酒田タウンミーティング」のオープニングセレモニーにて、酒田団の団員達による手旗笛を披露しました。海事振興連盟所属の



国会議員、関係団体、行政機関の関係者など多くの方が出席する中、団員7名が、会場へ行進しながら入場。「敬礼」から始まり、訓練した基本動作も無事にまとまり、前列3名のみが手旗隊形へ展開。笛の音に合わせ、「ようこそ 風薫る街 酒田へ」と送信し、ご来場の方々から沢山の拍手をいただきました。(副団長 杉山道弘)



神戸団

☆パレードに参加☆

4月21日「第51回神戸まつりパレード」に大阪みなと団、姫路団、神戸団で参加しました。何年振りかの雨中行



進でしたが、多くの観覧者を前に、みんな元気に堂々と歩きました。また、今年の神戸まつりは例年より1か月早く実施され、事前の合同練習なく、ぶっつけ本番でしたが、息のあった行進ができました。「うみ・みなとの仲間たち」のみなさん、ありがとうございました。

船橋団

☆海苔すき体験・漁場見学☆

2月3日、4年ぶりに「海苔すきと漁場見学(船橋市・船橋漁協)」に参加しました。さて、海苔すきですが、刻んだ生海苔を型枠にムラ無く流し込むのが、簡単そうで意外に難しい。一瞬の作業です。



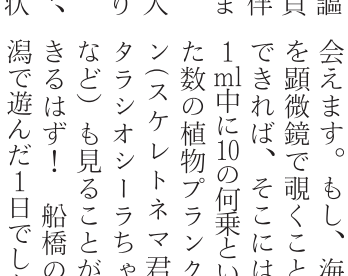
4年ぶりのせい、大人も子供も悪戦苦闘でした。四角に整えた海苔は天日で干します。このときに、「ピキッ、ピキッ」と海苔が鳴きます。昔は、これが冬の船橋の風物詩でした。これを子ども達に聞いておいて欲しかったのです。最後に自分達で作った海苔と船橋沖で獲れたスズキやクロダイをお土産に頂いて帰りました。ところで、みんな。お魚はお家でちゃんと捌けたかな？

船橋のモルジブと謳われた貝殻島。その貝殻島も堤防の工事に伴って撤去されてしまったこと。そこで、5月26日、貝殻島で大いに遊ぼうと潮干狩りに出かけました。船橋のアサリは、7、8年前から壊滅的な状況

高知団

☆水産試験場の見学会☆

高知団では、2月25日、高知県水産試験場の見学会を行いました。同場は高知県の浦ノ内湾の入り口部にあり、本館・資料館・研究施設・海面の生け簀などがあり、最初に同施設の次長さんから「施設について」「高知県の水産資源や土佐湾の海洋調査について」「海の藻類の重要性について」のお話を、また、高知県水産振興課の担当官(当団員のお父さん)から「高知県の漁業の現状と未来」のお話を頂きました。



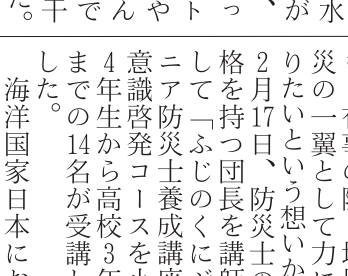
また、生け簀の見学ではシマアジの餌やり体験を行い、団員が餌を投げ入れるとシマアジが一斉に海面から飛び跳ね、ビックリした様子で大きな声を出して、楽しい見学会となりました。

物順位で高知県は上位に入っていること、カツオの消費量では高知県が全国で第1位であること、クイズ形式で魚の生態などを習いました。

浜名湖団

☆ジュニア防災士☆

静岡県では、南海トラフ地震に備え、ジュニア防災士の育成に力を入れています。当団も、有事の際、地域防災の一翼として力になりたいという思いから、2月17日、防災士の資格を持つ団長を講師として「ふじのくにジュニア防災士養成講座」意識啓発コースを小学4年生から高校3年生までの14名が受講しました。



静岡県では、南海トラフ地震に備え、ジュニア防災士の育成に力を入れています。当団も、有事の際、地域防災の一翼として力になりたいという思いから、2月17日、防災士の資格を持つ団長を講師として「ふじのくにジュニア防災士養成講座」意識啓発コースを小学4年生から高校3年生までの14名が受講しました。

静岡県では、南海トラフ地震に備え、ジュニア防災士の育成に力を入れています。当団も、有事の際、地域防災の一翼として力になりたいという思いから、2月17日、防災士の資格を持つ団長を講師として「ふじのくにジュニア防災士養成講座」意識啓発コースを小学4年生から高校3年生までの14名が受講しました。

藤沢団

☆落水訓練☆

6月9日の訓練日に、湘南海上保安署の協力の下、船からの落水に備える訓練をしました。団員たちはカッター



からの落水を経験しました。海の中では保安庁の潜水士が安全を確認し海の中からカッターへの乗船を助けてくれました。その後、ペットボトルや浮き輪等を使った人命救助法を教えることができました。

湘南海上保安署の協力の下、船からの落水に備える訓練をしました。団員たちはカッター

門司団

☆活動報告☆

4月29日「門司区こども祭」、5月3日福岡団との合同で「博多どんたくパレード参加」、5月26日福岡団、下関団、門司団、3団合同による日本三大みなと祭り(横浜・神戸・門司)と言われた門司みなと祭パレード(写真真下)に参加しました。



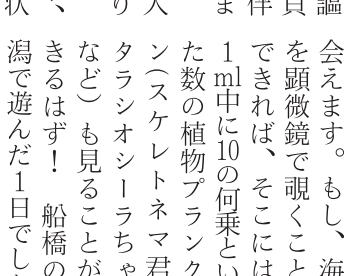
9日に1泊2日、「もじ少年自然の家」で佐賀県伊万里団に指導応援参加していただき、「新入団員ふれあい合宿」(写真上)を開催しました。団員も指導者も気持ちを新たに、みんな楽しく元気よく、他の団と手を取り合って立派な海の子になれるよう活動しています。皆さん応援してください。よろしくお願ひします。



九州北部地区連盟

☆伝統の合同合宿を実施！目指せ50回☆

3月2日から3日の1泊2日で、北九州市門司区の施設で春季合同合宿を実施した。平成14年に福岡団・門司団の合宿から始まった合同合宿も今回で20回目となった。



今回は、清水・尾道・宇部・岩国・門司・洞海・福岡・佐世保・五島市・大分・佐伯・旧鹿兒島の12団97名(指導者32名、団員65名)が参加した。開会式では、団員は緊張の面持ちであったが、交流会を通じて久しぶりの仲間との再会に笑い声や、やる気や朝からチラチラしていた雪もどかへ吹き飛んだ。合宿のテーマを「海洋のわ」、全員が色んな「わ」を探しながら合宿に臨んだ。今回、級別に隊・班を編成、講話、基本訓練、レクリエーション及び隊別研修を行った。基本訓練では、整列から報告など等を行い、日頃単位団ではできない大人数での訓練を実施した。

夜は、参加者の楽しみレクリエーション。佐世保団松枝指導者の巧みな話術で団員・指導者も体育館を走り回り、朝から続いていた寒さもどこへやら。楽しいひと時となった。高等級団員6名は手旗・ロープワークの訓練計画を立案し、2日目の時間で、送受信・ロープワークを中等級以下の各級団員に対して訓練を実施した。級別団員に対する指導方法の難しさを体験する等貴重な経験となった。閉会式後は、全員で一つの「輪」を作り、再会を約束しながら握手をして合宿の幕を閉じた。

夜は、参加者の楽しみレクリエーション。佐世保団松枝指導者の巧みな話術で団員・指導者も体育館を走り回り、朝から続いていた寒さもどこへやら。楽しいひと時となった。高等級団員6名は手旗・ロープワークの訓練計画を立案し、2日目の時間で、送受信・ロープワークを中等級以下の各級団員に対して訓練を実施した。級別団員に対する指導方法の難しさを体験する等貴重な経験となった。閉会式後は、全員で一つの「輪」を作り、再会を約束しながら握手をして合宿の幕を閉じた。



夜は、参加者の楽しみレクリエーション。佐世保団松枝指導者の巧みな話術で団員・指導者も体育館を走り回り、朝から続いていた寒さもどこへやら。楽しいひと時となった。高等級団員6名は手旗・ロープワークの訓練計画を立案し、2日目の時間で、送受信・ロープワークを中等級以下の各級団員に対して訓練を実施した。級別団員に対する指導方法の難しさを体験する等貴重な経験となった。閉会式後は、全員で一つの「輪」を作り、再会を約束しながら握手をして合宿の幕を閉じた。

夜は、参加者の楽しみレクリエーション。佐世保団松枝指導者の巧みな話術で団員・指導者も体育館を走り回り、朝から続いていた寒さもどこへやら。楽しいひと時となった。高等級団員6名は手旗・ロープワークの訓練計画を立案し、2日目の時間で、送受信・ロープワークを中等級以下の各級団員に対して訓練を実施した。級別団員に対する指導方法の難しさを体験する等貴重な経験となった。閉会式後は、全員で一つの「輪」を作り、再会を約束しながら握手をして合宿の幕を閉じた。

褒状山縣賞授与式及び合宿研修

褒状山縣賞授与式

3月22日、令和5年度褒状山縣賞授与式を川崎汽船本社にて行いました。



褒状山縣賞は、山縣記念財団のご協力のもと、特に優秀な成績で卒団した団員または卒団後も指導者として団活動に携わっている若手指導者を表彰するものです。

今年の授与式には受賞者9名のうち7名が出席し、受賞者ひとりひとりに賞状及び記念バッジが授与されました。

受賞者からは中日団の石原滯さんが代表で謝辞を述べました。

その後は海事研修として、横浜の海上保安資料館を見学したあと、静岡県の三ヶ日青年の家へ移動し合宿研修に参加しました。

合宿研修

3月22日～24日、静岡県立三ヶ日青年の家



たカッター訓練も雨のため日程を変更しましたが最終日に行うことができました。昨年に引き続き、今年も同世代の交流も十分にでき、普段カッター訓練をしたことのない団員にとっても貴重な体験となりました。

で、高校2年～3年団員及び褒状山縣賞を受賞した団員及び若手指導者を対象とした合宿研修を実施しました。

全国の海洋少年団からは、八戸団、豊白台団、中日団、豊橋団、南勢団、福岡団と、地元の浜名湖団を含む合計13名と指導者4名が参加しました。

研修は、今後指導者になるための心得や海洋活動の安全対策等の講義、手旗、ロープワーク、基本動作訓練、また研修の主要項目としてい



うみた ひろみ 海太と洋美 7つの間違い探し VOL.168 作・ちばへーた



上の絵と下の絵、違うところが7か所あります。探せたかな？ 答えは下を見てね！

宜野湾はごろも団 平良海咲さん OPヨットレースで優勝



40名以内に入り(県内初)その後のナショナルチーム最終選考会レースに出場(県内初)。中学3年生では第21回全国中学生ヨット選手権大会のOP級女子の部で優勝(県内初)、総合4位の快挙を成し遂げました。

この功績を受けて、昨年12月には与那原警察署の一日警察署長に任命され交通安全を呼びかけました。

また今年3月に行われた、日本パラオ親善ヨットレースの「パラオー日本親善OPディンギーレース」でも優勝し、これをもってOP競技は卒業しました。

高校は、県内唯一のヨット部がある沖縄県立知念高等学校(応用・特進クラス)へ進学し、420級ヨットにチャレンジしています。廃部寸前のヨット部でしたが、新入部員が増え、ペアを組めるほどの女子部員もたくさん入部したことで、ヨット部を立て直すつもりで頑張っています。

団活動は、できる範囲で続け、将来は海洋大や商船大などへの進学も視野に入れていると抱負を語っていました。



みどりの広場

「南きよくの石をさわって」

藤沢団 加地 美聡

4月27日と28日にしらせという船にとまりました。しらせは、南きよくに行った船で今は、ふなばしにいます。船には、南きよくの石があります。南きよくの石をさわって見ると、つるつるしています。南きよくの石をさわると、つるつるしています。南きよくの石をさわると、つるつるしています。

「スキー合宿に参加して」

中日団 伊藤 悠月

わたしは、2月10日にスキーに行きました。スキーをするのが大好きです。スキーは、止まることもむずかしかったです。一度も滑ることができませんでした。

連盟だより

1 名簿の提出について 各団からの団名簿の提出期限は6月末までとなっています。未提出の団は、今一度ご確認いただき提出をお願いします。

2 イベント情報提供のお願い 連盟のホームページでは、海洋少年団の活動を一般の方にも広く知ってもらうために、

3 全国海洋少年団大会について いよいよ今年度から2年にわたっての全国大会がはじまります。来月の8月3日(土)に東京で全国海洋少年団大会「式典の部」が

- ①短冊の長さ
- ②海太足元の星
- ③海太の頭
- ④洋美の髪飾り
- ⑤洋美の着物合わせ
- ⑥洋美の着物袖長さ
- ⑦カモメ

